

山本ようすけの議会活動

ケースワーカーを増員せよ!

多摩地域の自治体でケースワーカー（CW）1人当たりが受け持つ生活保護世帯数を山本が調査したところ、立川市を含む全自治体で国の定める標準数（市は80世帯）を大きく上回っていることがわかりました。この調査結果は東京新聞にも取り上げられ、大きな反響をいただきました。

議会では調査を踏まえ業務状況を質問したところ、負担が増加していることが改めて明らかになりました。CWの業務が逼迫すると生活保護利用者への訪問が減って現状が把握しづらくなり、適正な支援に結びつかなくなる可能性もあります。

昨今の生活保護は高齢者や障害者が増えており、今まで以上に頻繁に状況を確認して相談に乗る体制が必要です。市はCWは増員しない意向でしたが、引き続き増員に向けた要望を出し続けていきます。

キーワード ケースワーカー

生活保護費支給に関する業務や利用者へ定期的に訪問し、生活の相談に乗ったり、支援策の検討や就労指導などを担っています。生活保護利用者が安心して自立生活を送る上でケースワーカーの訪問はとても重要です。

CW一人当たりの生活保護世帯数（2020年9月）

自治体名	生保利用世帯数①	CW数②	①/②
八王子市	7,468	64	116.7
立川市	3,851	40	96.3
武蔵野市	1,654	18	91.9
三鷹市	2,542	27	94.1
青梅市	2,158	22	98.1
府中市	4,067	35	116.2
昭島市	1,731	17	101.8
調布市	2,602	24	108.4
町田市	5,712	51	112
小金井市	1,581	15	105.4
小平市	2,360	23	102.6
日野市	2,120	19	111.6
東村山市	2,470	23	107.4
国分寺市	974	9	108.2
国立市	930	11	84.5
福生市	908	10	90.8
狛江市	1,006	9	111.8
東大和市	1,375	15	91.7
清瀬市	1,637	14	116.9
東久留米市	1,703	15	113.5
武蔵村山市	1,220	11	110.9
多摩市	1,873	21	89.2
稲城市	871	10	87.1
羽村市	646	7	92.3
あきる野市	698	8	87.3
西東京市	3,144	30	104.8
西多摩郡(※)	710	10	71.0

(※)西多摩郡は3町1村。標準数は65世帯

電磁波による健康被害は配慮と対応を!

コロナ休校の影響もあり、教育環境における無線LAN環境の整備が急速に進んでいます。教育現場におけるICT環境の整備は学習効率向上をはじめ、様々なプラスの可能性があると否定しません。しかし、まれながらも電磁波による健康面への影響について懸念も拭えません。海外では無線LANを規制している地域や国もあります。立川市でも配慮や対応として無線LAN使用時以外はスイッチを切ることなどを提案しましたが、健康被害を訴える生徒は確認されていないとして現状では対応しないという答弁でした。しかし、もしそのような症例が疑われる生徒が確認できたらきちんと対応をしていくということで、今後も配慮する姿勢を忘れないよう求めました。

世界の電磁波に関する規制等の例

- フランス…幼稚園におけるWi-Fi禁止。小中学校は使用時のみの無線LAN起動を原則とする。
- ベルギー…幼児向け携帯電話を禁止。
- イスラエル…保育園におけるWi-Fi禁止。小学校でのWi-Fi使用制限。
- 欧州評議会…「電磁場の潜在的な危険性とその環境への影響」を可決させ、欧州政府に措置を要請。

ご支援のお願い

議員になって、2年半が経ち、自分の活動をこれまで多くの人に支えてきてもらい、活動の幅も広がってきています。しかし最近はその以上に欲が出てきてしまい、特に議会ごとに発行しているこのニュースは一人でも多くの市民の皆様にお配りしたいと思っています…ポスティングをはじめとしてご協力いただけるボランティアを大々募集しています! 1時間でも30分からでも可能です。是非連絡ください! お待ちしております!

立川市議会議員 山本ようすけ 緑たちかわニュース Vol. 9

2021年元旦
おそうに会
緑町公園にて



発行日: 2021年2月10日
発行: 立川市議会議員 山本ようすけ
連絡先: 立川市高松町2丁目19-1
TEL: 080-5650-7833
Email: t.yamayou@gmail.com



こんなときだからこそ連帯を

元旦にNPO法人さんきゅうハウスでおそうに会を開催しました。このような時節に開いて良いものか迷いましたが、「こんな時だからこそ不安を抱えている人たちが連帯を感じながら新年を迎えられるように」という思いのもと、感染対策をした上で行いました。参加者は昨年より多く、人が集まりづらい中で孤立している人が増えていることのあらわれでしょう。参加者からは「不安な状況の中で温かい元旦を迎えることができた」との声をいただき、無事に開催できてよかったと思います。

不安な状況はまだまだ続くと思います。このレポートが一人でも多くの孤独を感じている人に届き、私に連絡をいただけることを願ってやみません。お困りのこと、不安なこと、なんでも結構です。気兼ねなくご相談ください。

山本洋輔

山本洋輔 プロフィール

- 1990年 武蔵村山市生まれ
- 2009年 東京都立立川高校卒業
- 2014年 一橋大学 社会学部 社会学科卒業
コンサルティング会社に就職
- 2018年 立川市議会議員選挙に立候補 初当選
立川市議会議員(最年少)
環境建設委員会 副委員長

【好きなこと】

美術館・博物館巡り、映画鑑賞、歴史、読書、旅行登山、街歩き、ゲーム、子どもと遊ぶこと

【嫌いなこと・苦手】

嘘をつくこと、字を書くこと(悪筆)

